



積極的な地域活動を讃えて市長から 感謝状と記念品が贈呈されました

平成29年1月28日（土）、相模原市民会館において
各地区自治会連合会から推薦された71名の方々が、
市長から感謝状と記念品の贈呈を受けました。
受賞者は下記の方々です。



市長あいさつ

感謝状を贈呈させていただきます71名の皆様におかれましては、長年にわたり各地域で自治会活動に取り組まれ、地域の発展に多大なるご尽力を賜っており心より敬意を表する次第です。

皆様が各地域で取り組まれている、お互いに支えあい、助け合い、人と人との絆を大切に活動は、温かく暮らしやすい地域づくり、ふるさとづくりにつながるものと考えております。

今後とも、これまで培った経験を存分に発揮していただき、市民一人ひとりが安全で安心して夢と希望にあふれる心豊かな暮らしが送れるよう、地域コミュニティの輪を広げる取り組みにご尽力いただきたくお願い申し上げます。

本市はこれまでも、地域のまちづくりの中心的な役割を担う自治会の皆様とあらゆる場面で連携・協力をしながら、まちづくりを進めてきたところです。

自治会への加入促進や活性化に向けては、市自治会連合会との基本協定

や不動産関係団体を交えての協定に基づき、互いの連携を深めながら様々な取り組みを行っております。

市自治会連合会の皆様におかれましては、昨年2月にリニューアルされたホームページを活用し、若い方々が興味を持つ各地区のイベント情報を発信するなど、喫緊の課題である若い世代の加入促進に取り組んでいただいております。

また、地区自治会連合会や各自治会の皆様におかれても、締結した協定に基づき、より一層の加入促進に向けた取り組みの充実を図っていただいております。

市民協働推進条例に掲げる「皆で担う地域社会」を実現し、市民主体のまちづくりを推進していくためには、地域の要である自治会の皆様のお力添えやご活躍が不可欠であり、引き続きご理解ご協力を賜るようお願い申し上げます。

自治会活動功労者 感謝状受賞者 (敬称略)																																																							
橋本		吉田 雅彦	加藤 勉	近藤 直禰	上原 正夫	原 登	霧生 隆	綿引 功	樋口 志良	佐藤 久	城山		矢島 義明	田中 耕一	三角 哲嗣	津久井		清水 績	内田 淑子	角田 栄次	関戸 益男	相模湖		田中 勇夫	森久保 眞二	藤野		小野寺 康雄	小俣 久人	佐藤 和男	神田 正春	林 一郎	榎島 泰治	小山		関口 邦夫	江口 基明	清新		池田 弘幸	大山 孝	横山		小林 信治	佐藤 重明	中央		山田 章	斎藤 利秋	佐藤 賢一	星が丘		中村 徹也	佐藤 藤壽治	
光が丘		安藤 順夫	大野北		小山 勉	土田 隆一	岡野 敦夫	河本 武夫	小松崎 眞一	上溝		八木 稔	熊坂 永治	大野中		内藤 隆光	皆川 茂	干川 竹治	村田 諭	高橋 健一	林 光一	小宮 玉男	大野南		渡邊 満弘	大塚 昌宏	田中 美奈子	大塚 康子	松下 和禄	麻溝		内田 明	里中 正一	井上 行夫	福田 健二	錦織 芳之	石井 正彦	新磯		穂刈 健二	相模台		飯田 利宇	島野 満人	白崎 善一	平 武司	菊永 千博	荒井 功	相武台		瀬尾 守一	東林		戸崎 憲弘	秋山 季猷

自治会活動功労者
感謝状受賞者
（敬称略）

ホームページを見て活用しよう！

▶相模原市全地域の最新の情報を見られる！

地域の最新の情報をお届けします。

※アクセス数 46,713件
ページビュー数 148,275件
(2017年2月1日現在)



▶住所から自治会が調べられる！

市内でお引越しされる際や、ご友人が市内に転入される際に、ぜひご活用ください。



▶メールマガジン機能を搭載！

メールアドレスを登録していただくと、各地区のメールマガジンをお届けします。

ご存知でしたか？

——自治会連合会ホームページにはこんな情報も載っています。——

●自治会員専用割引の特典内容 ●自治会連合会の発行物 ●地域情報紙 ●防災マップ ●子育てマップ など

相模原市自治会連合会

検索

<http://www.sagamihara-jichiren.jp/>

携帯電話・スマートフォンはこちらからご覧いただけます→



自治会員専用割引 (Jichi Pass)

遊園地やボウリング場などのレジャー施設、ホテル・旅館などの宿泊施設、葬祭施設などで割引が受けられます。

また、平成27年度から、新たに人間ドックの割引が加わり、さらに内容が充実しました。

平成29年度版自治会員専用割引 (Jichi Pass) は、4月以降に自治会を通じて配布する予定です。ぜひご活用ください。



Jichi Pass を使用したら、
安くサービスを
うけることができました！



防災への取り組み

地震などの自然災害は、避けることはできません。地震災害を防ぐためには、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防災の組織的対応のもとで、地域の人々が協力しあって災害に立ち向かうことが必要です。

自治会では「地域力」を生かした防災訓練等を行い、災害に備えています。

地区防災計画が策定されました

東日本大震災などの大規模災害の発災直後には、消防や各行政機関など、「公助」による対応に限界があるため、自らの身は自ら守る「自助」、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の考え方を基本に、地域住民や地域で防災対策に取り組むことが重要です。

こうしたことから、災害に強いまちづくりを推進するため、地域での自助・共助の基本や住民等の役割を定めるとともに、地域で起こりうる災害を想定し、いざという時に適切に対応できるよう、市内22地区において、地区の課題や特性に応じた検討を行い、平成27年度に「地区防災計画」が策定されました。

今後は、防災活動をさらに強化して参ります。

なお、各地区の地区防災計画は、市のホームページまたは、お近くのまちづくりセンターでご覧いただけます。

政策要望書を 提出いたしました！

10月7日(金)、相模原市に政策要望書を提出しました。

【政策要望項目】

- 1 安全・安心のまちづくり
 - (1) 自転車事故防止対策にかかわる情報システムの構築について
 - (2) 犯罪防止のための防犯カメラ制度の拡充について
- 2 自治会活動の拠点づくりと地域活動の活性化
 - (1) 自治会が使用する用地の購入制度について
 - (2) 自治会加入条例の制定について
 - (3) 公立高校への学区外(隣接都県)入学について



人物紹介

61

今回は、バナナの皮は滑ることを研究し、ユーモラスで独創的な研究などに贈られる「イグノーベル賞」を平成26年に受賞した、光が丘地区にお住まいの馬淵清資（まぶちきよし）さんにお話を伺いました。



馬淵清資さん(光が丘地区)

イグノーベル賞を受賞した研究内容について教えてください。

バナナの皮の滑りの良さを、摩擦係数という数値で表現して、確かに滑るといふことを証明しました。さらに、バナナの皮の滑りの主役は、踏みつけたときに染み出す粘液であるということを示しました。

バナナの皮は滑ることに関する研究のきっかけは何だったのでしょうか。

工学部の学生だった40年前から、一貫して人工関節の設計を研究課題としてきました。その中で、人工関節のお手本となるヒトの関節の潤滑の仕組みについて調べていました。ある著書の中で、関節の滑りの良さが、バナナの皮の滑りと、連想させる記述したのが、バナナの皮の世界に足を踏み入れたきっかけです。

イグノーベル賞受賞の感想や受賞後の周りの反応はいかがでしたか。また、受賞したことで自身に何か影響、変化はありましたか。

ハーバード大学のサンダースシアター1,000人の聴衆とWEBによる全世界同時放映という状況です。数千人の目の前に立つための覚悟を決めるメインドコントロールが必要でした。結果として、歌で表現したことが、ハーバードのスタッフに好評だったので、安堵しました。その後、数か月にわたって、テレビ、

ラジオ、新聞、雑誌の取材が殺到し、超多忙でした。

普段どのようにアイデアを生み出していますか。

テレビ、ラジオに出演して、カメラやマイクの前に立つ、あるいは、新聞や雑誌のインタビューという、新たな経験の中で、緊張感からよいアイデアが自分の中から湧き上がります。それ以外では、仕事を中断する、つまり遊びの時間が、新奇なアイデアを生みます。

相模原市にはいつからお住まいですか。

昭和63年9月からです。最寄の上溝駅は、当時、もっと風情のある駅でした。その後、駅周辺の緑が削られてしまい、とても残念に思っています。でもまだ、自宅の庭に、カブトムシやコゲラが飛来します。相模原はよい所です。

どのような少年時代をすごしていたのでしょうか。

名古屋の市街地で育ちました。子どものころは、昆虫や小動物の世界にどっぷりと浸かっておりました。

なぜ研究者になるうと思われたのでしょうか。

興味を持ったことしか、やらないという性質でした。他の職業は不可能だったと思います。研究者になれていなければ、これまで生き延びることは、たぶんできませんでした。どこかで、行き倒れだったと思います。

自治会などの地域活動について

私自身は多忙で、自治会の仕事もかみさん任せにしています。会長をはじめ、自治会の仕事に尽力されている方々のご努力には、敬服いたします。

今後の抱負は

黒曜石で作られた石器が相模原で出土し、そこから、日本人類文明の歴史が3万年

以上ということが明らかにされました。しかも、この200年間、わが国は、エネルギー神話を信奉して、国土の破壊を繰り返してきました。このままでは、とてもこれから1万年先を見据えることはできません。私は、これからの日本を維持継続するために、エネルギー偏重の価値観を見直すべきだと考えています。そのため、講演会をはじめ、テレビ、ラジオでのアピール、新聞への投稿などを通じて活動をして行きたいと思っています。

最後に研究者を目指す子どもたちへのメッセージがあればお願いします。

明日はどのようなのか、とか、あの山の向こうには何かがあるのか、といった素朴な疑問を抱くことから科学は始まりました。この疑問から好奇心が生まれます。これさえあれば、研究者になれます。

ただし、職業としての研究者となるには、その疑問が、万人共通でなければいけません。私は、バナナの皮が本当に滑るのかという疑問から始めたわけですから、科学的には知っていても、科学的には知らなかったという疑問だったわけなんです。つまり、氷の表面とバナナの皮、どちらが滑るのかに答えるには科学が必要だったわけです。

万人共通の疑問であることを知るには、先人の跡を学ばしかないと。そして、明日はどうかを示す指針が見つけられ、後世は法則と名付けられ、称賛します。



授賞式での馬淵さん（ハーバード大学にて）

22地区でまちづくり懇談会が開催されました。

自治会をはじめとした地域で活動する団体で構成される「まちづくり会議」と相模原市が意見交換や情報共有を行い、地区のまちづくりを考える場として、「地区まちづくり懇談会」が昨年8月～11月に各地区で開催されました。地域性を反映したテーマについて、活発な議論が交わされました。

地 区	テ ー マ
大 沢 8/2	1 高齢者及び障害者、認知症患者への地域の取組について ・高齢者の見守りについて ・障害者及び認知症患者の見守りについて 2 地区内における防犯や交通ルールを守る意識向上について ・効果的な交通ルールの周知について ・高齢者訪問事業の充実について
大野中 8/5	1 児童館・こども広場の整備と確保について ・児童館の利用時間について ・児童館の整備について ・子どもの広場の確保について
東 林 8/19	1 地域における防災対策について ・子どもに対する防災教育の推進などについて ・甚大な災害が起きた場合の対応について ・共助のネットワークづくりについて 2 地域の子育て環境について ・子どもが遊べる場所の確保について ・「こども食堂」について
橋 本 10/4	1 橋本地区における自転車の交通安全対策について ・橋本地区の自転車危険箇所と自転車通行環境整備方針 ・自転車のマナーアップの取り組みについて 2 中学生と地域との関わりについて ・中学生の地域活動への参加について ・中学生に対する防災意識の啓発について
麻 溝 10/7	1 避難所までの道路沿いの安全確保について ・避難所に向かうまでの道路沿いの危険箇所の把握などについて ・危険箇所に対する対策や方針について 2 麻溝地区における高齢者の外出支援（移動サービス）の推進について ・高齢者の移動困難な実態や移動サービス導入の事例の把握について ・介護予防を含めた高齢者の移動サービス導入に対する市の支援策等について 3 県道52号相模原町田道路改良事業に伴う安全で利便性の高いまちづくりについて ・工事期間中における安全対策について ・立体交差化に合わせた生活道路の一体整備について
城 山 10/11	1 城山地区の活性化について ・交通アクセスと土地利用について ・観光の活性化について
田 名 10/18	1 小田急多摩線の早期延伸及び相模線の複線化実現に向けた取り組みについて ・交通政策審議会における小田急多摩線延伸の答申に対する市の考え方について ・交通政策審議会における相模線関連の答申に対する市の考え方について

地 区	テ ー マ
田 名 10/18	2 救急搬送体制について ・搬送する病院の決定について ・救急隊の現場での活動について
藤 野 10/21	1 藤野地区の豊かな自然環境を守る取り組みについて ・不法投棄防止対策とより効果的な取り組みについて ・鳥獣被害防止対策の現状と更なる取り組みについて 2 子育てがしやすい環境づくりについて ・子育て支援について ・児童クラブの充実について
清 新 10/25	1 安全で安心して暮らせるまちづくりについて ・「介護マーク」の普及について ・「介護マーク」を普及するための適正管理について 2 大規模災害時における初動体制等について ・災害時要援護者の支援対策について ・情報伝達の強化について
相模湖 10/27	1 相模湖地区の活性化と魅力づくりについて ・都立高等学校への受験特例措置及びJR中央線の増便について ・児童館機能のある施設の早期整備について ・地域で支える子どもたちの居場所づくりについて
大野北 10/28	1 地域の交流の場・活動の拠点づくりについて ・地域住民の交流の場の不足について ・民間活力による公共施設の再整備について 2 あらゆる人々が結び・安全に暮らせる大野北地区のまちづくりについて ・自治会の加入率の向上について ・高齢者になっても安心安全に暮らせる大野北地区のまちづくり
津久井 10/31	1 津久井地区における防災対策自助活動について ・自助活動の推進について ・風水害時における公助の役割について 2 中山間地域の特性を活かした観光振興について ・ビオトープの有効活用について ・観光資源の環境整備について
小 山 11/1	1 相模原駅周辺のまちづくりについて ・相模総合補給廠返還地の整備計画について ・住民に対する意見聴取及び情報提供について ・道路整備の進捗状況と今後の予定について
横 山 11/4	1 地区の子ども達の安全な環境づくりについて ・子ども食堂の開設について ・横山小学校の通学歩道の拡幅について 2 男女共同参画の推進について ・地域活動における男女共同参画推進について ・地域防災における男女共同参画推進について
光が丘 11/7	1 地域防災力向上に向けた取り組みについて ・防災条例・地区防災計画の周知方法について

地 区	テ ー マ
光が丘 11/7	・防災マイスター制度の運用と補助制度の充実について 2 安心して暮らせるまちづくりについて ・地域住民の生活を脅かす開発行為について
中 央 11/8	1 地域資源の活用による地域活性化・市の魅力発信について ・淵野辺公園周辺の地域資源の活用について ・キャンプ淵野辺留保地の整備について ・国民生活センターの活用について
相武台 11/10	1 相武台まちづくりセンター・相武台公民館の移転について ・跡地について ・投票所について
星が丘 11/11	1 子どものプール環境について ・プールの有効活用について 2 子どもが健やかに育つ環境づくりについて ・子どものボール遊びのための環境づくりについて
大野南 11/14	1 さらなる地域防災力の強化に向けた地域での取組みについて ・「共助」に対する市の支援について ・「防災空白地帯」における防災対策や地域における避難所の設置について 2 高齢者がいきいきと安心して暮らすことができるまちづくりについて ・高齢社会に向けた地域での環境づくりについて ・新しい介護予防・日常生活支援総合事業について ・民生委員、児童委員について
新 磯 11/15	1 高齢社会における地域コミュニティの活性化について ・高齢者の見守り活動の充実について ・高齢者がいきいきとして活躍できる場の創出について ・高齢者が暮らしやすい生活環境整備について
相模台 11/17	1 これまでのまちづくり懇談会テーマの進捗等について ・地域課題について ・子どもの貧困対策について 2 地域活性化事業交付金について ・地域活性化事業交付金について
上 溝 11/18	1 小田急多摩線延伸計画について ・今後の事業の取り組みと展望について ・これからの上溝の姿について 2 災害への備えについて ・自助・共助・公助について ・河川の災害対策について

**災害に強い
まちづくりのために**
城山地区自治会連合会
会長 山下 利磨

毎年、3月になると未曾有の災害となった東日本大震災が思い出され、改めて、災害に対して、地域で何ができるかを考える機会となっています。「近助」という言葉が示すように、災害への対応は、日頃からの顔の見える関係づくりを大切にしてい、地域が一丸となって取り組むことが極めて重要と考えます。

城山地区では、災害時の要援護者避難支援に関する協定を市と結ぶなど、各自自治会が地域の実情に応じた支え合いの仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。

また、昨年は、相模原市総合防災訓練の地域会場訓練が城山地区で開催され、自治会連合会も積極的に参加して、実際に避難区画をダンボールで設置して体験するなど、避難所の運営を主とした訓練を行いました。秋に開催された地域イベント「もみじまつり」の会場では、防災訓練のパネル展示や地震車の

体験ゾーンを設けるなど啓発活動にも力を入れています。自治会は、一人ひとりの住民が主体的に活動し、支え合いながら地域をさらに住みやすいまちとするための共同体です。災害が起こるたびに、地域の結びつきの強さ、大切さが見直され、自治会の果たすべき役割も益々期待されてきています。これからも地域の皆さまとともに「地域の絆」を築きながら、災害時にできることを一つひとつ形にして、「住んで良かった、ずっと住みたいまち城山」を目指していきたいと考えています。



パネル展示 (防災訓練)



避難所運営訓練

**「やんべえまつり」で
地域の絆づくり**
中央地区矢部第四自治会
会長 小林 満

当自治会におきまして、各地域同様自治会員の減少、高齢化、子ども会活動の弱体化等の問題を抱えておりまして、7年前にこのような問題解決のため、地域の絆づくりを行うことを目的に、自治会、地域の子ども会、長寿会、各種団体を中心に、麻布大学などの学生の協力を得て、「やんべえまつり」を企画いたしました。



餅つき体験

しかし、2月の開催だったため、寒さもあって盛り上がりには欠け、次年度より、12月の開催となりました。長年続いておりました「餅つき」と同時開催となりましたところ、当初の目的であった真の「三世代交流」を図ることができました。

当日は、約800名の老若男女、特に子どもたちが、長寿会、学生たちの行う各種イベントに喜々として参加され、お母さんお父さんも一緒に楽しんでおられました。また、開催に先立ち、役員で自治会未加入世帯を中心に「まつりのチラシ」を戸別訪問をして、会員加入を促進いたしましたところ、2世帯の申込がありました。少ない数値ですが、新しい仲間づくりが出来て、働きかけの重要性を感じています。



地域のボランティア団体による輪投げコーナー

**大野南地区連合自主防災隊主催
「地域防災訓練イベント」**
「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」は
大盛況でした！
大野南地区自治会連合会
会長 大木 恵

11月23日(水・祝)、ボーン相模大野において、地域の子どもたちやその保護者たちへの「防災学習」として、イベント形式で「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」という名称で防災訓練を開催しました。

当日は肌寒い天気にもかかわらず、子どもたちや若い家族連れが800名余り参加し大賑わいでした。会場には10種類の防災体験プログラムを用意しました。



カエルの的がくると回れば大成功！消防士さん指導の下、消火器の使用手順をゲームの中で学びます。

防災体験ブースを回り、「消火」、「救出」、「救護」などをゲーム感覚で楽しみながら防災学習し、ポイントを取得します。さらにブースを回りながらポイントを増やして他のおもちゃと交換(かえっこ)をしたりします。イベントの最後には、貯めたポイントで人気の高いおもちゃを競り合うオークションも開催し、大いに盛り上がりました。



なまず人形に押しつぶされているカエルを救出！ジャッキを使って助け出すゲームです。

**むかし
昔**
No.57

上溝地区

上溝地区自治会連合会
会長 小林 充明

『あずきとぎ婆あ』

むかしむかし、上溝・石橋地区の東側に、こんもりと樹木が覆いかぶさった鳩川の流れが曲がるところに「あずきとぎ婆あ」というのが出たそうです。現在の県道54号相模原愛川線の鳩川と交差する北側の地点です。

白髪を振り乱した恐ろしい

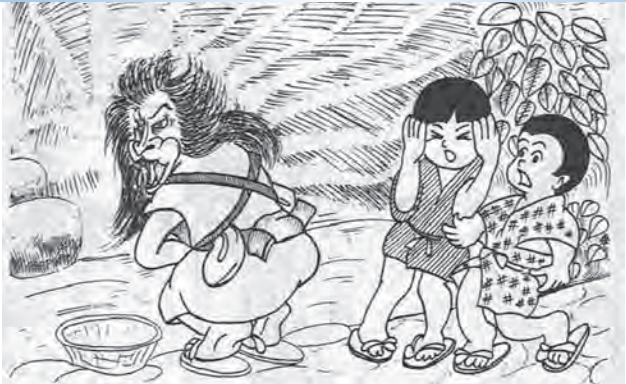
顔をした婆あが、いつも流れに向かって「さらさら」と「あずき」といっていました。川の流れる音も、さらさらとせせらいでいて、おぼけが出るにはふさわしい環境でもありました。

この話をしてくださった上溝出身の日本画家、吉川啓示さんも、若い頃に夜遅くここを通って、さらさらという川の音を聞き、「あずきとぎ婆あ」のことを思い出して背筋が寒くなるような気持ち

ちがしたそうです。ひよいと顔をあげてみると、頭の上に赤銅色をした大きな盆のような月がありました。しかし実際の半月は西の方に傾いて出ていたそうです。これは狐か狸の仕業に違いないというので夢中になって家に飛ぶようにして帰ったということです。

参考文献

「かみみぞの史跡と伝説をたずねて」
上溝公民館発行



あずきとぎ婆あイメージ図



県道54号から見た現在の鳩川

ご案内とお願い

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせ

相模原市自治会連合会事務局

☎ 042-753-3419

E-mail:info@sagamihara-jichiren.jp

**自治会報さがみはら編集
広報部会員**
坂本 堯則 (相模台)
澤塚 正史 (相模湖)
石井 正彦 (麻溝)
穂苅 健二 (新磯)
佐藤 あつ子 (相武台)
笹野 忠則 (大沢)
廣瀬 市郎 (津久井)
武田 邦雄 (清新)
笹野 賢司 (星が丘)
渡邊 重治 (大野北)
中村 洋子 (大野南)
嘉松 皓 (東林)